



こ  
や  
す  
坂

**第 45 号**  
平成31年2月28日  
発行  
金沢桜丘高校PTA

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業式での校歌に、心が震え、涙が溢れた方もおられたことと思います。制服を着て、体育館で皆で歌う最後の校歌。桜高生活最後の節目として、しっかりと胸に刻まれたことと思います。これからそれぞれの人生、楽しいこと、辛いこと、様々なことが予想されます。いや、私達の世代の予想を超え、時代の幕開けかと思われませんが、桜高生活で培った質実剛健の力で、どんな荒波にもひるむことなく立ち向かい、弱き人に手を差し伸べる温かい心で、大いに謳歌して存分に人生を楽しんでください。

県下一の高倍率を乗り越えて、入学された皆さんが、ピカピカの桜丘高校で、勉学に部活動に精一杯励まれる姿は、保護者の私達にも伝わるものがありました。野球部の真剣な取り組み、サッカー部のひたむきな姿勢、吹奏楽部の感動のステージ、剣道部の純粋な眼差し。新聞部の幅広いフィールドと視点。放送部の瞬間へのこだわり。美術部のセンス抜群さ。それぞれの部活動において、溢れるドラマが有り、それらすべてが皆さんの心と体の肥やしとなって次なるステージの糧になっていくのです。最高の感動をありがとうございました。

また、保護者の皆様におかれまし



ご卒業おめでとうございます

PTA会長 熊野 盛夫

では、3年間の3S歩行、桜高祭をはじめとした数々のPTA活動にご理解とご協力を賜り、すべて大成功裏に終えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。特に、3S歩行は3年間天候にも恵まれ、今年度は、過去最高の完歩率となり、最高のご協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

そして、生徒の皆さんを熱い思いでご指導賜りました前田校長先生をはじめとする先生方、誠にありがとうございました。

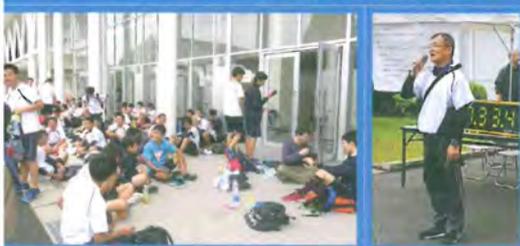
特に、台風接近を受けての今年度の3S歩行。コース短縮と送迎バスの運行と万全のバックアップ体制が功を奏し、大成功いたしました。しかし、決定までの道のりで、決行か、中止かを先生方で大激論されたこと伺い、後に熱い思いがこみ上げてきました。また、3S歩行当日の朝、自身が両男である生徒に謝る前田校長先生のご挨拶にも心打たれました。精一杯の愛情と情熱で生徒たちをご指導いただきましたこと、すべての先生方に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

3年間吸収した栄養を糧に、思う存分咲き誇れ桜高生！  
君たちは、今、最高に美しい！

START



内灘



新しい時代の幕開けにあたって

学校長 前田 一弘

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。特に「桜高祭」や「3S歩行」など、本校の特色ある教育活動は、保護者の皆様の協力なしには、実施不可能なものであり、重ねて御礼申し上げます。

さて、この度ご子息ご息女がご卒業を迎えられた保護者の皆様、おめでとうございます。晴れの門出にあたり心よりお祝い申し上げます。今年度の卒業生は、平成最後の卒業生となります。近年、「AIの発達により今ある職業の約半数はなくなってしまう」「現代は全く先を見通せない時代である」「少子高齢化で人口減が進む日本の将来は暗い」などといっ

た、将来に対して悲観的な論調の言葉を聞くことが多くなったような気がしますが、その言葉自体は間違いではないかもしれません。しかし、「1/2の職業がなくなる」ということは同時に、今ない新しい産業や職業が多く生まれることを意味します。私が高校を卒業した時代には、皆がスマートフォンを手にして世界と繋がることのできることも想像もつきませんでしたし、「GAFAM」と総称される Google, Apple, Facebook, Amazon などの世界的大企業も、聞いたことすらありませんでした。「先を見通せる時代」など、少なくとも近代以降あった例がないのです。また、少子高齢化が進み、人口が減るといことは、社会の中で若

者達一人一人の価値が高まり、活躍の場が広がることを意味します。本校の卒業生達が新しい時代を切り拓き、社会の中心的役割を果たす可能性が高まっていくのです。日本を代表する実業家の稲森和夫氏は「楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する」と語っておられます。何かを成し遂げるには、まず「こゝろありたい」という大きな夢を持ち、構想を見つめ直す際は悲観的なまでに丁寧

に分析し、そして実行段階では「必ずできる」という自信を持って行動することです。最初と最後は楽観的であることが成功の秘訣なのです。卒業生諸君や在校生の皆さんは、来たるべき新しい時代においても、金沢桜丘高校で身につけた人間力を存分に発揮し、どのように社会が変革しようとも、明るく柔軟に対応し活躍されるものと確信いたしております。

余談になりますが、今年度石川県高体連70周年記念式典で講演をお願いした金丸 雄介 氏をご紹介くださった次の言葉が強く心に残っています。「教育のこ

と天下これより偉なるはなし。一人の徳教広く万人に加わり、一世の化育遠く百世に及べり。」これは大河ドラマ「いだてん」でも有名な嘉納治五郎が残した言葉だそうです。この言葉が日本柔道の父であり日本近代スポーツの発展に大きく貢献するとともに、東京高等師範学校（現筑波大学）の校長を長く務めるなど、教育者としても大きな足跡を残した嘉納治五郎の言であることに、大きな意味を感じます。この言葉を聞いた時、自戒の意味も込めて教育の大切さを再確認するとともに、「文武両道」を校是とする本校の生徒、職員、そして保護者の皆様に励まし、勇気を与えてくれる言葉だと感じました。金沢桜丘高校では、どんなに時代が変わろうとも「質実剛健」「文武両道」の精神を忘れることなく教育活動に励む所存でございますので、保護者の皆様におかれましては、今後とも本校の教育方針にご理解を賜りますとともに、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### めった汁作り

PTA副会長 小林 真弓

台風直撃で開催も危ぶまれた中、時間短縮開催で歩行時間は殆ど晴れていた第30回のミラクル3S歩行。時短ということで生徒の同時刻の一言ゴールが予想され、それに対応できるよう迎える側もめった汁の準備をしていました。

例年にはない午前中にもうゴールするかもとの一報があり、お手伝いの保護者の方から「うちの子かもしれないので見に行ってもいいですか」の一言に続き、別の方からも「うちの子かも」とのお声。そして見に行かれたお二方のお子さんが1位2位でゴール。ミラクルは天気だけではなく学校でも起こっていった時間に子供のゴールを見られたこと、そして1位2位というドラマのようなストーリー。これもめった汁作りにかかわ



れたからこそ体験できた出来事だったと思います。

毎年多くの保護者の方々にお手伝いいただいておりますが、疲れてゴールしてもめった汁を受け取る時に「ありがとうございます」と言ってくれる生徒同様、爽やかに気持ちよくお手伝いしてくれる方ばかりで大人にも桜高カラーがあるんだなと思えました。手際よく1300食準備し、裏ではひたすらお椀を洗う。生徒の喜ぶ顔が見たいという気持ちですが、実は自分達も高校生になった気分になれる行事なのかもしれません。ご協力頂いた保護者の方々、そして先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 第30回 3S歩行

PTA副会長 大澤 一嘉

平成最後の3S歩行が9月30日日曜日



今年度は第30回という大きな節目の記念大会でした。ところが大型の台風が接近し、各所でイベント中止が相次ぐ中、距離を縮めて決行することになりました。

例年千里浜海岸からスタートのところ高松サーブエリアからのスタートに変更し、歩行距離は30kmに短縮されました。

スタート前に、熊野PTA会長から大きな台風に負けないように仲良く元気に歩いて欲しいとの挨拶があり、曇り空の下時刻の午前8時に出発しました。

私は歩行指導という立場で生徒をサポートしながら一緒に歩くという役目です。実は私の第一子も金沢桜丘高校に通っていたこともあり、歩行指導は自身4回目の参加です。ですので、どの生徒よりも多く参加させてもらっています。毎

回いろんな生徒がいます。元気に笑いながら走って行く生徒、辛くて泣きそうになっている生徒、たくさん見てきました。各自みんなゴールに向かって頑張っている姿はたのしみです。長距離を歩く姿は「Spirit・Sympathy・Self-control」そのものだと感じます。

30年続く伝統行事であり金沢桜丘高校でしか体験できない3S歩行は、先生方、生徒、保護者が一丸となって成し得る素晴らしいイベントだと思います。それだけに台風接近の中での開催は学校としても苦渋の決断だったと思いますが、幸い当日は心配された台風の影響は少なく、1,000名を超える生徒が怪我なくそして無事に30回目の3S歩行を成功させることができました。これもひとえに先生方の運営と568名の保護者の協力のたまものです。今後もこの素晴らしい行事が続き、金沢桜丘高校生徒の思い出となり、人生の糧となることを願って止みません。

# 委員会報告等

## 総務広報委員会

総務広報副委員長 藤村 幸司

総務広報委員会は、9月と2月の年2回発行されるPTTA広報誌『こやす坂』の編集を主な活動としていきます。本年は委員会において出された意見やアイデアをもとに、わかりやすく読みやすい広報誌をテーマにPTTA活動、学校行事をはじめ生徒保護者の学校評価、授業評価等や部活動各種大会成績などを掲載いたしました。特に写真を多く誌面に配置するなど、生徒たちの頑張る様子が伝わるよう工夫いたしました。『こやす坂』が良かったでしょうか。『こやす坂』を通して、PTTAの皆様に桜丘高校を理解していただき、子どもたちにとってより良い教育環境づくりの一助となればうれし限りです。第44・45号発行にあたり、ご寄稿いただきました皆さま、編集にご尽力いただきました委員の皆様、先生方から感謝申し上げます。

## 母親保健委員会

母親保健委員長 杉本さなみ

母親保健委員会は今年度も高P連の母親代表委員会への参加を中心とした活動を行いました。いづれも講演を拝聴という形で、大塚製薬(株)課長様の「高校生活での熱中症対策」、天狗中田産業(株)取締役様の「命を戴く」、LEADバレーボールアカデミーメンタルコーチ様

の「人生を変える言葉の力」、と各界の方から生きた情報をいただき、よい学びの場となりました。

お忙しい中委員会に参加くださいました実行委員の皆様、桜高祭や3S歩行にご協力頂いた保護者の皆様ありがとうございます。昨日PTTA活動の是非が取り沙汰されておりますが、一人一人のほんの少しの協力が集結すると我が子の高校生活を豊かにできるのは間違いのない事実だと思います。それがきつと桜丘高校のよい伝統につながっていくことと信じております。

## 生活安全委員会

生活安全委員長 山岸 研一

平素よりPTTA活動・委員会の活動にご理解、ご協力頂き厚く御礼申し上げます。

生活安全委員会では本校における生徒の生活指導と交通安全指導、そして本校PTTAを代表して県高P連主催の生活安全委員会への参加が主となります。研修会では各校のPTTAと共に高校生の保護者という立場で各種講演を拝聴させて頂きました。また6月・9月には自転車交通マナー指導、通学マナー指導として鳴和、大樋の両交差点に委員と先生方、生徒代表が活動を行いました。本校は自転車による登校が非常に多く、交通安全という観点から、時には非常に厳しい指導を覚悟していたのですが、生徒たちにおいてはマナーもとても良く、また挨拶という面では清々しく、誇り高さ自慢できる桜高生の一面を感じさせてもらいました。

## 保護する者から自立を支援する者へ

進路指導課長 濱崎 正明

「何を知っているか」ではなく、「何が出来るか」「何を学んだか」ではなく、「誰と、何をして、何を感じ、何を成し遂げたか、そして何を得たのか」が問われる時代が来ていると思います。現在、ITやサービス系を中心に、保護者の皆さんが就活していた時代にはなかった業種や職種が次々と現れていますし、将来子ども達が就く職業のうち、半分以上は今まだ存在していないとも言われています。先行きが見通せない、正解のない社会で活躍する人材を育成するために、高校・大学・大学入学者選抜は、かつてない変化を遂げようとしています。

問われ、子ども達の資質や能力が、多面的・総合的に評価される入学者選抜に変わりつつあります。今までの大学入試は、「知識・技能」を中心に測ってきたため、筆記試験だけで済んだのですが、これからは「学力の3要素」全てを測って生徒を選ぶことになるのです。

子ども達が大学で学ぶのは、AIの進化、グローバル化の加速など、これからの社会で生きて働く力をつけるためです。大学入試が変わる理由は、その社会が変化しているからに他なりません。文部科学省は、「予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要とされている」として、高校・大学・大学入学者選抜を三位一体で改革することにしました。これが「高大接続改革」と言われている改革の狙いです。変わるのは入試だけではなく、大学も高校も変わっていくこととなります。

再来年度である2020年度から「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わります。今までは、5個程度の選択肢から1つ選ぶ方式であったものから、正解を全て選んだり、記述解答したりする「思考力・判断力・表現力」が問われます。具体的には、国語と数学ではマークシート方式に加え、記述式問題も導入され、試験時間も長くなります。また英語では、これまでの「読む」「聞く」に加えて「書く」「話す」を含めて4技能について測られることになり、民間の資格・検定試験も活用されます。また、大学個別の入学者選抜も変化しています。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の「学力の3要素」が多様な入試制度によって

では、保護者の役割とは何でしょうか。大切なことは、子ども達が勉強も部活も進路も「自分で考える」ことです。大人の意見を入れすぎると、子どもの思考は停止することがあります。大人に求められることは、「どうしたい?」「どうありたい?」という問いかけだと思います。もちろん、保護者の人生観を語ることは良いことですし、保護者の希望を伝えることは大切ですが、希望を押しつけてもうまくいかないことも多いと思います。資料収集や環境整備に専念し、保護者の在り方を「保護する者」から「自立を支援する者」へと変えていく発想をお持ちいただけたらと思います。

### 学校の様子について

生徒指導課長 小田 哲生

#### 挨拶

4月の始業式に学校長から「本校が県で一番元気な挨拶ができる学校に。」と講話がありました。そして毎朝学校長が一番に玄関前で生徒達と挨拶を交わしています。次第に生徒から挨拶が出るようになり、校舎内でも元気な挨拶が多くなってきました。まだ、県で一番とまではいき

11月6日 NSH講演会



12月14日~16日 2年生勉強合宿



1月10日 寒稽古



1月19・20日 センター試験



ませんが、挨拶を通して元気な学校に変わっています。

#### 自転車のマナー

本校の自転車通学をしている生徒は75%と多いです。残念なことに、今年度は4月から自転車による交通事故が多発しています。幸い大事に至る事故はありませんが、非常に心配です。すべてが生徒側の不注意で起きているものではありませんが、交通ルールや自転車乗車マナーを守れば、防げたケースが多いです。学校でも職員や交通安全委員の生徒に

よる登校時の自転車マナー指導も行っています。今一度、生徒自身が命の大切さを自覚し、規範意識を持って自転車を使用してください。

#### 身なり

生徒の身なりについては、非常に好感が持てます。しかし、一部で校則を守れない生徒が見受けられます。「服装の乱れは心の乱れ」と言われます。生徒のちょっとしたサインに気づき、全職員で指導します。ご家庭でもお子様の身なりに目を

配りいただき、学校と家庭の両面で生徒を支えていきたいです。

#### 保護者による車での送迎

保護者の車による送迎で通学している生徒がいます。しかし、本校は校地内や鳴和坂付近の道路が狭く、生徒の安全を考慮して、怪我等によって車の送迎が必要な生徒を除き、校地内までの送迎をご遠慮していただいております。また、鳴和坂の下の路地での乗降についても、他者や住民の迷惑になるため駐停車されたいようご協力をお願いします。

● ● マイクロバス贈呈式 10月12日 ● ●



# 知っていますか？ 3S 歩行クイズ

～30年を振り返って～



第26回 3 S 歩行

## Q1. 30年で最も短い時間で完歩した人の時間は？

- ① 3時間18分    ② 3時間48分    ③ 4時間18分    ④ 4時間48分

第5回と第9回において11時18分にゴールした人がいます。当時は、自己タイムの短縮をめざす「3S歩行」でもありました。近年では、関門の開門時間も決まっており、第1関門の白尾(うみっこランド)の開門時間が10時45分(2時間45分後)です。それと比較すると、かなり早いですね。なお、男子を抑えて、女子(陸上部)がトップで完歩した年(第6回、3時間24分)もありました。……………A.①



9回 3 S 歩行

## Q2. 保護者の方が歩行指導を始めたのは何回から？

- ① 第1回    ② 第10回    ③ 第13回    ④ 第20回

関門で指導、コース指導等は第1回からご協力いただいています。千里浜からの歩行指導が始まったのは、第13回です。当時の歩行指導は20名でしたが、今年の歩行指導は32名、最も多かったのは第17回で43名の方々にご協力いただきました。ちなみに、今年度のPTA協力者全体の数は、過去最高を更新して568名でした。ご協力ありがとうございました。…A.③



第10回 3 S 歩行

## Q3. 今年、台風の影響により、歩行距離が短縮されました。30年のうち、短縮された年は何回ある？

- ① 1回    ② 2回    ③ 3回    ④ 4回

10回、17回、26回、30回の4回です。このうち、10回以外は、台風等の暴風雨を避け、安全を確保するために短縮されました。10回は、3Sの12日前に台風7号が県内を通り抜け、自転車道が高松・大海川付近で通行止めとなったため短縮されました。しかしながら、30年の歴史の中で、「中止がない」というのはおどろきですね。……………A.④



第13回 3 S 歩行



第13回 3 S 歩行

## Q4. 30年のうち、土曜日に実施されたことはある？

- ① ない    ② 1回ある    ③ 2回ある    ④ 3回以上ある

1回目は平成2年10月6日(土)で、2日後の8日(月)に創立70周年記念式典が開催されました。当時の桜高新聞を読み返してみると、「3S当日歩きながら、「こんなもの月曜日しんどくて行けん」と言っていた友人達も、みんな来ている。」「3Sの痛み」というものも桜高生の勲章なのかもしれない。しんどかったと言うわりには、みんなよくしゃべる。」とあります。まさに「質実剛健」を感じますね。

2回目は平成22年10月9日(土)で、2日前の7日(木)創立記念日に創立90周年記念式典が開催されました。

ちなみに、今年の第31回3S歩行は10月5日(土)に実施予定です。6日(日)は台風等の予備日とする予定です。……………A.③



第26回 3 S 歩行



創立70周年記念式典

# 運動部各種大会上位入賞者

## 石川県高等学校新人大会

- サッカー部 ベスト 8
- 男子バスケットボール部 ベスト 8
- 男子バレーボール部 3位
- 卓球部
  - 女子団体 ベスト 4
  - \*北信越大会出場
  - 個人 吉田詩衣菜
  - \*全国選抜大会出場
- 女子ソフトテニス部
  - 女子団体 ベスト 8
- 陸上競技部
  - 男子走幅跳 山本 惇平 5位
  - 男子 5000m 岡部 凜大 5位
  - \*北信越大会出場
- 柔道部
  - 男子団体 ベスト 8
- 剣道部
  - 男子団体 ベスト 8
  - 女子団体 3位 \*北信越大会出場
- 空手道部
  - 男子団体形 3位 \*北信越大会出場
  - 女子団体形 3位 \*北信越大会出場
  - 女子団体組手 準優勝 \*北信越大会出場
  - 男子個人組手 大箱 純義 3位
  - 女子個人形 山本 まゆ 3位 \*北信越大会出場
  - 女子個人組手 川本 美羽・岡 否美 3位
- 女子バドミントン部
  - 団体戦 ベスト 8
- ハンドボール部
  - 男子団体 ベスト 8
  - 女子団体 ベスト 8
- 馬術
  - 障害飛越競技 A 2位 伊関 香織
  - 馬場馬術競技 A 2位 伊関 香織



## 各種大会

- サッカー部
  - 全国高校サッカー選手権大会石川県大会 ベスト 8
  - 優秀選手 西本健悟 アシスト王 西本健悟
- 男子バスケットボール部
  - 石川県高等学校バスケットボール選手権大会 ベスト 8
- 男子バレーボール部
  - 全日本高等学校バレーボール選手権大会石川県大会 3位
- 陸上競技部
  - 国民体育大会石川県予選会
  - 少年 A 走幅跳 山本 惇平 4位
  - 少年 B 3000m 岡部 凜大 2位
- 柔道部
  - 全国高等学校柔道選手権大会石川県大会
  - 男子個人 ベスト 8
  - 敢闘賞 山森 慶真
- 剣道部
  - 国民体育大会
  - 石川少年女子 高木陽奈子 5位
  - 石川県高等学校選抜大会
  - 男子団体 ベスト 8
  - 女子団体 3位
- 弓道部
  - 金沢地区弓道大会 女子個人 坪内 美南 2位



## 北信越高等学校新人大会

- 陸上競技部
  - 男子 5000m 岡部 凜大 3位
- 空手道部
  - 女子団体組手 ベスト 8
  - 女子団体形 ベスト 8



# 文化部各種成績

- 吹奏楽部
  - 石川県アンサンブルコンテスト金沢支部大会
    - フルート四重奏 金賞・支部代表
    - クラリネット四重奏 金賞・支部代表
    - 打楽器八重奏 金賞・支部代表
    - サクソフォン四重奏 金賞
    - 金管八重奏 金賞
  - 石川県アンサンブルコンテスト
    - フルート四重奏 金賞・県代表
    - クラリネット四重奏 銀賞
    - 打楽器八重奏 銀賞
  - 北陸アンサンブルコンテスト
    - フルート四重奏 金賞
  - 第3回いしかわ吹奏楽コンクール新人戦
    - 金賞 (準グランプリ) \*全国へ
- 文芸部
  - 文芸作品コンクール \*全国へ
    - 俳句部門 向 美咲 優秀賞 (県 1位)
    - 木下 日菜 優秀賞 (県 3位)
    - 前田 彩花 優良賞 (県 6位)
    - 山岸 聖 優良賞 (県 8位)
    - 谷内明香莉 優良賞 (県 9位)



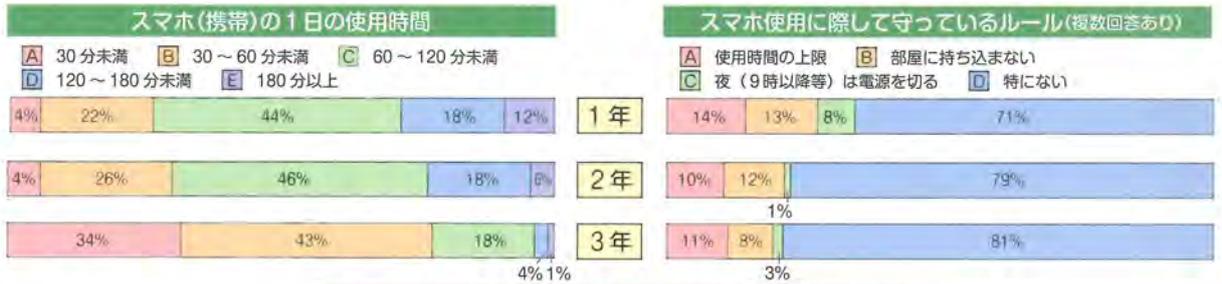
- 放送部
  - 石川県高校放送作品コンクール
    - 第一部門 (放送劇・物語) 優秀賞
    - 第四部門 (ビデオメッセージ) 優良賞
    - \*北信越へ
  - 石川県高校放送コンテスト新人大会
    - アナウンス部門 上田 有悟 優秀賞
    - \*来年度全国総文出場
- 新聞部
  - 石川県高等学校新聞コンクール
    - 総合の部 最優秀賞
    - \*来年度全国総文出場
    - 企画賞・学芸賞
    - 部門の部



- 全国高等学校読書体験記コンクール
  - 全国高等学校長協会賞 中野 光志

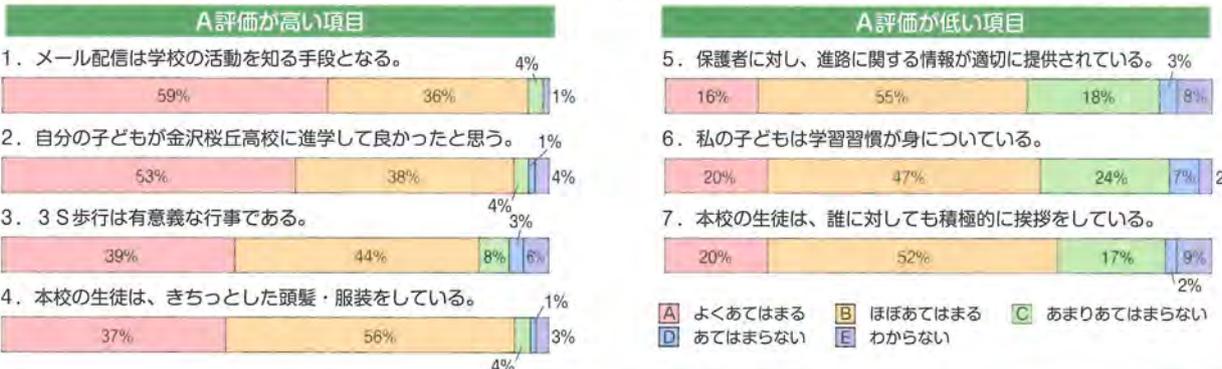
### 生徒学校評価 (後期) の結果より

スマートフォンや携帯電話に関わる分野のアンケート結果について、前期の概要を踏まえて、後期の結果をお知らせします。使用時間に関して1時間以内の生徒は、1年生26%(前期38%)、2年生30%(前期30%)、3年生77%(前期65%)と、1年生ではより長時間使用する生徒の増加傾向が見られます。また、2時間以上の生徒は、1年生30%(前期20%)、2年生24%(前期19%)で、ともに増加していることは注意すべきことです。3年生は5%と前期と変わりありません。また、家庭で使用する際に守っているルールの特にないについて、1年生は前期より増加し71%、2、3年生では減少しルールをつくっている家庭が増えていることがわかります。スマホなどの情報機器は便利な反面、学習への集中力が低下したり、SNSでのトラブルに巻き込まれるなどリスクがあり、3学期の学年集会で注意喚起を促しました。ぜひ、生徒自身でコントロールできるよう家庭でルールを決め、守るようにご指導をお願いします。



### 保護者学校評価 (後期) の結果より

各項目とも、概ね肯定的な評価(A+B)をいただいています。今回も前期と同じように、特にA評価が高い項目と低い項目をお知らせします。A評価が低い項目に関しては、学校評議員会・学校関係者評価委員会の提言を基に具体的な対策を検討し、今後の取組を進めてまいります。



### 生徒授業評価 (後期) について

教務課

次のグラフは、12月実施の第2回授業評価結果です。今年度も昨年に続き、評価項目1~5のA評価の平均が55%以上を目標としてきました。結果は52.6%で目標に達しませんでした。1回目(7月に実施)48%より4.6%増、昨年度第2回の49.9%より2.7%増と改善されました。特に項目1~5すべてにおいてA評価が1回目より上昇し、A+B割合も1回目との比較では評価項目1~5すべてで上昇、昨年度2回目との比較では5項目中1項目で上昇、2項目は微増、1項目微減で項目5「授業を受けて興味・関心が高まる」は昨年度A+Bよりも1.1%減少しました。この結果を踏まえ、生徒たちの志を育て進路希望を実現するために、さらに授業の充実にも努めてまいります。

